

2020 年度 事業報告書

地域・産学連携センター

目次

2020年度活動のまとめ	・・・・・・・・・・・・・・・・	-1-
中止となった主な事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	-2-
各部局の地域連携活動		
ユネスコスクール	・・・・・・・・・・・・・・・・	-3-
学校インターンシップ	・・・・・・・・・・・・・・・・	-6-
SAGE-JAPAN	・・・・・・・・・・・・・・・・	-7-
八王子駅前七夕飾りの制作	・・・・・・・・・・・・・・・・	-9-
看護学部地域公開講座	・・・・・・・・・・・・・・・・	-10-
大学コンソーシアム八王子での活動		
学生企画事業補助金	・・・・・・・・・・・・・・・・	-12-
学生発表会	・・・・・・・・・・・・・・・・	-17-

知的財産・産学連携活動 -23-

センターとしての活動 -25-

2020 年度活動のまとめ

2020 年度は新型コロナウイルスの蔓延による緊急事態宣言発令とともに始まり、まさに未曾有の災害に翻弄された 1 年間でした。

緊急事態宣言による外出制限により、本学においても大学構内への入構制限、授業のオンライン化等、実際に社会との交流を伴う社会連携活動においても多大な影響を受け、例年行われている大半の社会連携活動は中止を余儀なくされました。

地域・産学連携センターにとっても大変厳しい 1 年間でしたが、オンラインによる活動も可能な限り行われました。また、センターとしても体制の整備に努め、次年度以降への礎を築くことができました。

例年に比べ、少なくはありますが、ここに 1 年間の活動をまとめ報告させていただきます。

地域・産学連携センター

センター長 杉山 由紀男

2020 年度中止となった主な事業

- ・八王子学生 CM コンテスト（大学コンソーシアム八王子）
- ・まちづくり・ものづくりコンペディション（ネットワーク多摩）
- ・八王子学園都市大学いちょう塾・こどもいちょう塾
- ・夏季大学講座・夏休み親子教室
- ・キャンパスエコツアー
- ・東北復興スタディーツアー（経済学部）
- ・「まちづくり八王子」フィールドワーク（法学部）
- ・サマージュニアカップ（サッカー）・八王子少年野球大会

2020 年度は新型コロナウイルスの影響により残念ながら多くの事業が中止となりました。2021 年度も大半の事業に影響が出ると思われますが、2022 年度の再開に向けて、準備をしております。

2020 年度社会連携活動報告書

所 属	教育学部事務室	氏 名	吉村 隆幸
プロジェクト名 テーマ等	ユネスコスクール支援委員会		
対 象	東京都多摩地域を中心とした小中高のユネスコスクール及びユネスコスクール加盟を希望する学校		
実施時期	通年		
参 加 者 (人数)			
活動内容	<p>ユネスコスクール支援内容</p> <p>1. 支援対象地域にある学校のユネスコスクールへの加盟申請支援</p> <p>創価大学教育学部・教職大学院は 2018 年 7 月に ASPUnivNet に加盟し、ユネスコスクールへの加盟申請支援をおこなっています。2019 年度にはユネスコスクール加盟申請校である東京都八王子市・板橋区・北区および埼玉県、群馬県内の小学校 6 校、中学校 1 校、高等学校 2 校、中学・高等学校 1 校への加盟申請支援をおこないました。</p> <p>2. 主な支援活動 (2020 年度)</p> <p>下記の①勉強会、②フォーラムについては、ユネスコスクールへの加盟に向けて申請中の学校からの参加者がありました。</p> <p>特にフォーラムでは、支援担当である埼玉県立春日部女子高等学校、久喜市立久喜小学校、</p>		

幸手市立八代小学校が、事例報告を行いました。本学との関係が強まるとともに、また各学校間での交流の契機となりました。

・ ESD 支援内容

1. ESD 関連の勉強会の実施（2020 年度）

① ESD 関連の勉強会を開催しました。（6 月 24 日）

日本 ESD 学会・手島利夫先生を講師に迎え、「ユネスコスクール推進ミニフォーラム」をオンライン開催しました。本学の教職員・学生のほか、近畿圏、九州圏のユネスコスクール関係者や教諭ら約 80 名が参加しました。（写真①）

② 教職大学院・教育学部合同 ESD フォーラム「質の高い教育をみんなに～ユネスコスクールの取り組み」をオンラインで開催（12 月 12 日）

冒頭、立命館大学堀江未来教授が「国際理解・SDGs を取り入れた教育の考え方と実践」の講演をおこない、続いて、小学校と高校に分かれて分科会を行い、小学校・高校各 2 校（計 4 校）のチャレンジスクールが日頃の取り組みを発表しました。（写真②）

2. 今後の ESD 関連活動の展望

創価大学では教職員だけでなく、多くの学生団体が SDGs 達成に向けた活動に従事しており、新たに学内に SDGs 推進センターも発足しました。今後は、こうした学内活動・リソースの掌握のみならず、地域の社会教育機関との連携を図り、対象地域下にある小中高等学校に積極的に紹介することで、ユネスコスクール活動の支援およびネットワーク作りに

役立てていきます。

なお、ユネスコスクール支援活動を推進する組織として、創価大学ユネスコスクールプロジェクトを立ち上げて取り組んできましたが、当プロジェクトを公式に教育学部・教職大学院内の組織に位置づけるべく規程の整備を行います。

次年度以降の予定・計画

2022年度は本学を会場として「ユネスコスクール関東ブロック大会」を開催予定

ホームページ URL:<https://www.soka.ac.jp/education/unesco/>

2020 年度社会連携活動報告書

所 属	教職キャリアセンター	氏 名	藤岡拓己
プロジェクト名 テーマ等	学校インターンシップ（教育学部専門科目）		
対 象	文・教育・理工学部 2～4 年生		
実施時期	通年		
参 加 者（人数）	68 名（2020 年度）		
活動内容			
<p>小・中学校での学校インターンシップは、市教育委員会、小・中学校、大学の 3 者で連携して実施しています。教職志望の学生が半期または年間を通して学校現場での職業体験を行い、主な活動内容は学習指導補助です。</p> <p>幼稚園でのインターンシップは、大学と幼稚園で直接連携して実施しています。</p>			
次年度以降の予定・計画			
実施予定です。			
ホームページ URL : https://www.soka.ac.jp/educareer/student/intern/			

2020 年度社会連携活動報告書

所 属	教育学部	氏 名	宮崎 猛
プロジェクト名 テーマ等	SAGE JAPAN の運営		
対 象	都内の高校、大学、企業		
実施時期			
参 加 者 (人数)			
活動内容	<p>SAGE JAPAN は、創価大学の教育学部宮崎猛研究室のゼミ学生が立ち上げ運営しており、現在は文京学院大学の学生など他大学の学生も参加しています。</p> <p>SAGE とは、2002 年にアメリカで設立された国際的な教育プログラムで世界約 30 カ国で展開しています。高校生が大学生のサポートを受け、SDGs の観点から地域や社会の課題に立ち向かい、問題解決のためのプロジェクトを考案・実践します。宮崎ゼミは、このプログラムを牧口常三郎が提唱する「人道的競争」具現化の見地から SAGE の教育的意義を強調する形で SAGE JAPAN を展開しています。ねらいとしては、社会に新たな価値を創造し、実現する活動を通して、参加者全員が問題解決能力、社会貢献力、提案力、創造力等を身につけることです。毎年 3 月に SAGE JAPAN CUP を開催して優勝チームを世界大会に送り出しています。2020 年は対面での大会はコロナの影響で中止になりましたが、6 月にオンラインで開催。二つのチームを 8 月に開催されたオンライン世界大会に送り出し、二つのチームがそれぞれ SDGs 項目 14、項目 16 を獲得しました。</p>		
次年度以降の予定・計画			
開催予定			
ホームページ URL:	http://sagejapan.jp		



循環型社会の実現に向けて



靴下とプラスチック資源を併用し、循環させる



3Rに基づいた活動

- Recycling
 - 古紙を再利用している企業への電話調査
 - →レシートは感熱紙なので古紙再生不可能
- Reuse
 - レシートで鏡や爪を磨く
 - →効果見られず



2020 年度社会連携活動報告書

所 属	文学部	氏 名	西川 ハンナ
プロジェクト名 テーマ等	八王子駅前マルベリーブリッジでの七夕飾り		
対 象	八王子駅北口商店会		
実施時期	6 月末～7 月上旬		
参 加 者 (人数)			
活動内容	<p>八王子駅北口商店会が毎年駅前マルベリーブリッジで行っている七夕飾りに、文学部西川ゼミを中心とした本学の学生が「アマビエ」のイラストやメッセージボードを作成。緊急事態宣言下で大学での活動が制限される中、オンラインを中心に連携を取り、この状況が終息するようお願いを込めて作成を行った。</p>		
次年度以降の予定・計画			
開催予定	<p>毎年開催予定</p>		
ホームページ	https://hachioji.keizai.biz/headline/3023/ (八王子経済新聞記事)		

2020 年度社会連携活動報告書

所 属	看護学部	氏 名	尾田 聡
プロジェクト名 テーマ等	看護学部地域公開講座（オンライン開催）		
対 象	地域の看護職員等、保健医療福祉に従事する方		
実施時期	2021 年 3 月 6 日（土）		
参 加 者（人数）	25 名		
活動内容			
<p>看護学部の鈴木恵子教授が「未曾有の災害、コロナ禍の今だからこそ考える ～看護の持つ力を活かすために～」と題した講座を行いました。</p> <p>新型コロナウイルスのパンデミックを「災害」と捉え、人類の災害に関する歴史から学びつつ、今までとの違いは何か整理し、応戦していくことが大切であると言及し、COVID-19 が確認されてから今日までの状況を振り返り、日本において働き方や生活、医療、人の心がどう変化したか、医療や介護の現場ではどのような対策・変化があったのか分析し、日本の状況がどのように変化したのかを解説しました。</p> <p>現在、超高齢化社会の日本において地域包括ケアシステムが推進されていることに着目し、「地域」単位で COVID-19 に応戦する必要性とともに、その方法について、看護部長を務めていた経験を踏まえた提案をされながら、最後に、看護の視点から「今できることは何か」、利用者・患者（看護の対象者）と、医療スタッフ（看護の仲間）それぞれに対し</p>			

てのアプローチについて、ワークショップを交えながら世界における取組についても紹介
する内容となりました。

次年度以降の予定・計画

毎年開催予定

ホームページ: https://www.soka.ac.jp/nursing/news_nursing/2021/03/5794/

2020 年度社会連携活動報告書

所 属	リエゾンオフィス	氏 名	富岡 清英
プロジェクト名 テーマ等	大学コンソーシアム八王子学生企画事業補助金		
対 象	創価大学生		
実施時期	2020 年 6 月～2021 年 2 月		
参 加 者 (人数)			
活動内容			
<p>大学コンソーシアム八王子主催の学生企画事業補助金に、理工学部丸田ゼミ「八王子産酒米米粉を利用したプラスチック代替品の開発」と文学部尾崎ゼミ「ウエルカムタウン八王子プロジェクト」が採択。大学コンソーシアム八王子からの補助金を活用し、プロジェクトに取り組んだ。</p>			
次年度以降の予定・計画			
<p>ホームページ URL: https://gakuen-hachioji.jp/main-business/kikakuhojo-3/</p>			

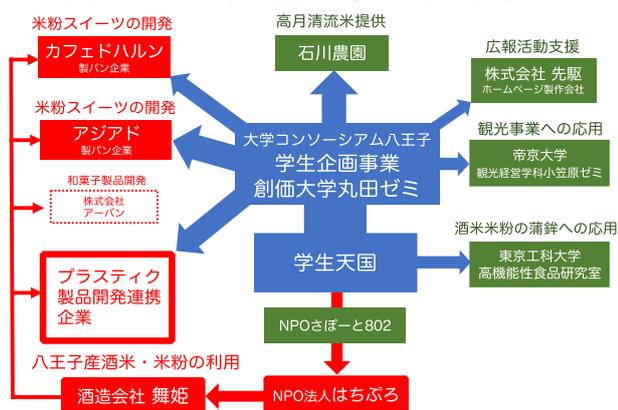
八王子産酒米米粉を利用したプラスチック代替品の開発

創価大学 理工学部 丸田ゼミ
今村裕一

① 事業内容

1-1 背景

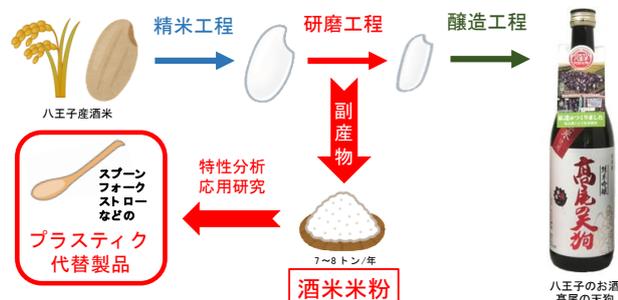
私達のゼミでは、これまでに八王子の地域活性化を目的として、八王子特産米である高月清流米を利用した加工食品を開発する事業を行ってきました。そして生産農園そして地域企業と連携して、米粉湯種パンを



開発することができました。

図1 丸田ゼミの産学連携相関図

これまでの大学コンソーシアム八王子が実施する様々な企画やイベントがきっかけとなり、多くの企業、団体と連携することができました。その中で"NPO 法人はちぶろ" (八王子産米の日本酒"高尾の天狗"による町おこしプロジェクト)と連携して、日本酒製造過程で発生する米粉を活用した加工製品を開発する事業を開始しました。八王子高月地区で生産される酒米から作られる吟醸酒"高尾の天狗"の製造過程で発生する大量の副産物の米粉は、



これまで有効活用されていませんでした。

図2 吟醸酒製造過程で発生する副産物酒米米粉

1-2 目的

本事業の目的は、この米粉をバイオマスとして捉え、

バイオ技術を用いて"NPO 法人はちぶろ"そして地域企業と連携して優れた米粉の加工製品を開発する事です。昨年度は NPO 法人はちぶろから提供される酒米米粉デンプンの特性分析を行い、酒米米粉の特性に適したしっとり系のスイーツの開発に成功しました。その開発過程で酒米米粉は、ケーキやクッキーなどへ応用すると硬くなってしまい、これらには向いていないことがわかりました。しかしながら、その結果からプラスチックの代替品へ応用できる可能性を見出しました。そこで本年度は、酒米米粉を利用したプラスチック代替品を開発することを行いました。さらに、ジャガイモデンプンを利用したバイオプラスチック製品を製造している八王子のプラスチック成型会社セイホーと連携して酒米米粉のデンプンを用いたバイオプラスチックの開発も試みました。これにより地域における食品ロス、プラスチック環境問題に貢献することを目指します。特にプラスチック環境問題は、世界的に注目されており、その対応が急がれています。日本でも最近になってスーパーのレジ袋の有料化や飲食店でのプラスチック製品・ストローなどの廃止が広まっています。しかし、プラスチック製品がとても便利で、私たちの生活に貢献してきたことは事実です。使わないのではなく、プラスチックに替わる代替品や生分解性のバイオプラスチック製品に置き換えることが望まれます。従って、本事業の副産物の米粉を利用したプラスチック代替品やバイオプラスチック製品を開発する試みは、とてもタイムリーな活動になると思われます。さらに、帝京大学観光学科小笠原ゼミと連携して MICE などの観光事業を通して学生のアイデアで積極的にプラスチック問題に取り組む八王子をアピールすることも試みました。そして、完成したプラスチック代替品やバイオプラスチック製品を連携する飲食店で試供していただき、具体的に製品化の可能性を探りました。

② 実施報告

2-1 プラスチック代替品の開発 (食べられる米粉スプーンの成型加工)



図3. 酒米米粉を利用したプラスチック代替品

私たちは、昨年の学生企画事業補助金の研究において酒米米粉の優れた特性を明らかにしています。酒米のデンプンの分子サイズは、熱が発生しないを条件で調製したデンプンよりわずかに分子量が小さくなっていることが示されました。さらに粘度も糊化温度も一般の米粉より低いことが示されました。この特性は、しっとり系のスイーツに適していますが、ケーキやクッキーでは硬くなりすぎて適していないことがわかりました。本年度は、これを失敗として捉えるのではなく、積極的にこの硬くなる性質を生かして、スプーンやフォーク型に硬く成形したプラスチック代替品を開発することを試みました。スプーン型金型の成型加熱器具を調達し、水分量、添加物を変えることにより、米粉成型スプーンが使用に耐えられる強度になる条件を検討しました。



図 4. スプーン成型器具と食べられる米粉スプーン

2-2 バイオプラスチックの開発

プラスチック環境問題に取り組むために、私たちのゼミの主旨に賛同していただいた地域プラスチック成型企業株式会社セイホーさんと連携することができました。そして、酒米米粉から生分解性のバイオプラスチックを開発することを試みました。セイホーさんでは、これまでに米国の企業からジャガイモのデンプンから調製したバイオプラスチック素材を輸入して、バイオプラスチック成型製品を製造されています。具体的な製品として蜂蜜メーカー用の専用スプーンの製造などが行われています。セイホーさんと打ち合わせを行い、酒米米粉デンプンでも同様にバイオプラスチック素材ができる可能性を見出しました。そこで、ジャガイモ・デンプンのバイオプラスチック素材を提供していただき、それをモデルとして米粉デンプンを加工してバイオプラスチック素材を調製する基礎実験を行いました。また、バイオマスからバイオプラスチック素材を作るシステムを開発しているアグリフューチャー・じょうえつ株式会社と連携する事ができ、次年度に向けて酒米米粉

からバイオプラスチック 成型用ペレットの調製の打ち合わせを行いました。さらに、八王子にあるプラスチック フィルムのインフレーション成型を行なっている吉野化成株式会社とも連携する事が出来ました。



図 5. (A) ジャガイモデンプン・バイオプラスチックのスプーン (B) 酒米米粉バイオプラスチック 素材試作品 (C) ジャガイモデンプン・バイオプラスチック素材

2-3 広告活動と観光事業への展開

【八王子飲食店との連携】 これまでに開発した酒米米粉のスイーツ・チョコブラウニーの試供をお願いしている連携店や高尾の天狗の酒造メーカー舞い姫の八王子直営店”蔵人舞姫”と連携して、プラスチック代替製品、バイオプラスチック製品の試供そしてアンケート調査を実施する計画を進めています。

【観光事業との連携】 帝京大学観光経営学科小笠原ゼミと連携して MICE において、八王子産米から造った吟醸酒”高尾の天狗”，酒米米粉スイーツそして酒米米粉プラスチック代替製品の 3 点セットをアピールすることを進めていきます。



2-4 まとめ

高尾の天狗を製造する過程で発生する副産物・酒米米粉の性質を利用してプラスチック代替品の開発とバイオプラスチック開発の基礎研究を実施しました。そして製品化できる可能性を得ることができました。

③事業を実施した感想

この事業を通して、地域の賛同としていただいた企業や商店街の方と連携をすることができ、事業を進めることができました。このような取り組みに参加できて、様々な方と関わらせて頂く中で、普通の大学生活ではできないことを経験できました。これから就職活動を行う上で、とても良い教育になったと思います。

ウェルカムタウン八王子プロジェクト

団体名 尾崎ゼミ
代表者名 柳伊織

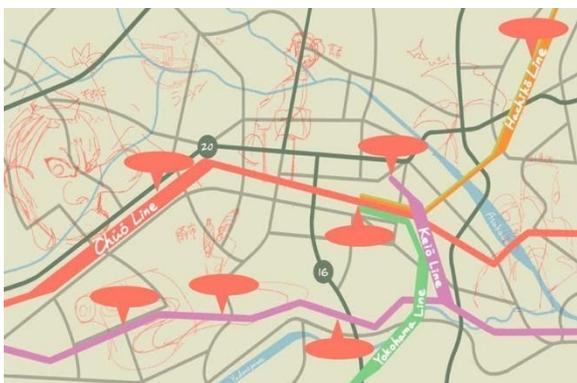
1. 事業内容

本事業は、八王子市における外国人(観光客・居住者を含む)を対象にした、食に関する事業である。現在、八王子市には、外国人に向けた、観光マップは存在するものの価格帯が高い他、英語のメニューが存在しない、食文化(ハラールやベジタリアン、ペスカタリアン等)に対応したものが少ないことが課題として挙がっていた。そこで、本事業では、外国人を対象にニーズ分析を行うとともに、そこから得られた課題をマップに反映させる。

また、八王子市街で、多国籍料理やベジタリアンなどに対応した飲食店をマップ掲載店舗とし協賛していただく。飲食店の店内には、当ゼミで作成した、英語メニューの設置と、食文化シートを設置する。食文化シートは、お客様が持っている食文化について、従業員と容易にコミュニケーションができるように設計し、宗教的に飲食物の制約などがある場合は、その食材を使用したものを提供しないようにできることができる。

それに加え、本事業では、「食×教育×八王子」の視点から、「八王子子ども食堂」を選定した。この募金箱に寄付することで、食を通じて、来店者が教育に貢献しているということ、郷土に貢献しているということにつながるという目的を備えている。

1 八王子マップ ラフ画 (飲食店・観光地等を含む)



2 八王子子ども食堂を対象とした募金箱の作成



2. 実施報告

本事業について申請時には、英語メニューにアレルギー表示や、お客様からアレルギーについての申し出をすることを案に記載していたが、コンタミネーションがあった場合の責任の所在や、アレルギー表示については記載を間違えることがあると命の危険にさらすこともあるため、この度は断念した。その代わりとして、食文化カードを作成し、従業員との円滑なコミュニケーションに役立つことが見込める。また、英語メニューについても外国人に理解が難しいメニューなどは、説明を付けるなどして制作した。

現時点で、本事業の協力店舗は10店舗であり、ほぼ全店舗で八王子子ども食堂への募金箱を設置している。なお、10店舗の中には、経営の都合上、設置が難しい店舗があったことも事実である。

八王子マップについては、掲載方法を当初の紙媒体という案から、デジタル化する案に変更することになった。いつでも、どこでもアクセスできることを目的とし、今後の掲載店舗が増加する際にも、更新がしやすいというメリットがある。現在、八王子マップ掲載用のホームページを開設中である。

- 1 英語表記メニュー(©ミリス)
- 2 ホームページの作成



CURRY [single]

Chicken curry	¥ 850	Chicken spinach curry	¥ 900	Garland chrysanthemum	¥ 950
Keema curry	¥ 850	Keema spinach curry	¥ 900	Coriander	¥ 950
Vegetable curry	¥ 850	Seafood curry	¥ 950	Detox curry	¥ 950
Beans curry	¥ 850	Mutton spinach curry	¥ 950	(chicken, keema, mutton)	
Mutton curry	¥ 900	Butter chicken curry	¥ 950		

Choose spicy from 5 levels⁺

0. Mild 1. Normal 2. Medium 3. Spicy 4. Extremely spicy

Rice



Roll nan



Chicken biryani

Rice	¥ 300
Basmati rice	¥ 500
Garlic rice	¥ 500
Chicken biryani	¥ 1000
Roll nan	¥ 650
Spicy roll nan	¥ 750

※All prices are excluding tax



Soka University

Ozaki Seminar

2020年大学コンソーシアム八王子「学生生活実業補助会」受託プロジェクト



Hachioji Map
Restaurants for Halal, Pescatarian, Vegetarian, Vegan



Questionnaire to international students/residents
Input from international students and residents for the life in Hachioji

3. 実施した感想

コロナ禍で休業を強いられる店舗が多数存在する中で、飲食店との提携をすることが最も難しかった。さらに、外国人観光客や留学生を対象にしたニーズ分析についても、コロナ禍の影響もあってか、調査母体を抽出するのに時間がかかったことは難点であった。結果、(i)質問紙の分析が遅延してしまったこと、(ii)飲食店との連携が遅れてしまったことは否めない。また、八王子マップの制作については、現在ホームページを開設するためのプログラミングの段階である。完成次第、10店舗の掲載をしたい。

本事業では、八王子には多くの多国籍料理や食文化に対応した飲食店が存在することが

発見できたが、その反面、外国人が、情報が少なく食文化に悩むということも確認できた。そうした、相互のニーズに対応し、情報を提供できる八王子マップの有効性を感じた。また、八王子子ども食堂との交流を通し、「食」通して「貧困をなくす」、「飢餓をなくす」は、SDGsの16の目標の中に対応するものでもあった。持続性という点で見れば、ホームページを開設することにより、今後店舗が増えていくことに対しても更新ができるようになる機能を備えることで、一時的な事業で終始せず、今後も続けていくことができる可能性がある事業であると結論づけられる。

2020 年度社会連携活動報告書

所 属	リエゾンオフィス	氏 名	富岡 清英
プロジェクト名 テーマ等	大学コンソーシアム八王子学生発表会		
対 象	創価大学生		
実施時期	2020 年 12 月		
参 加 者 (人数)			
活動内容			
<p>大学コンソーシアム八王子主催の学生発表会「学生が八王子市長へ直接提案！～最終選考会～」で、経済学部西浦ゼミが最優秀賞を受賞。「農・食セッション」では理工学部丸田ゼミ、「観光セッション」では法学部前田ゼミがそれぞれ最優秀賞を受賞。その他7件が入賞した。</p>			
次年度以降の予定・計画			
<p>ホームページ URL: https://gakuen-hachioji.jp/main-business/presentation-2020/</p>			

※画像、資料等がございましたら、メール添付の上ご提出ください。

第12回大学コンソーシアム八王子学生発表会 受賞者一覧

農・食セッション

最優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
G113	八王子産酒米米粉を利用したプラスチック代替品の開発 今村 裕一 (創価大学 丸田ゼミ)

審査員賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
G116	八王子野菜が人と人を繋ぐ架け橋に 大前 遥 (創価女子短期大学 水元研究室)
G117	「八王子版！SDGs教育の推進に向けた地域(すご)教材(ろく)」 林 菜摘実 (創価大学 前田ゼミナール)

特別賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
G111	タカクラディッシュビューティー 伊藤 明凜 (創価女子短期大学 水元研究室)

観光セッション

最優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
G212	ムスリム&ベジタリアン対応レシピコンテスト 箕浦 葵 (創価大学 前田幸男ゼミ)

審査員賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
G211	八王子市地元再発見のためのバーチャルお散歩マップ 木村 倫太郎 (拓殖大学 永見研究室)
G216	いつでもどこでも気軽に八王子の魅力を発見！ 井上 朋香 (創価女子短期大学 水元研究室)

学生が八王子市長へ直接提案！～最終選考会～

最優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
H008	高齢者の生活に灯を！Lightsプロジェクト 有馬 広喜 (創価大学 西浦昭雄ゼミナール)

優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
H003	市民が安心・安全に過ごせる避難所の提案 縄 あすか (創価大学 前田幸男ゼミ)
H005	ICTによる移動困難者向け送迎支援ネットワーク構築活動の円滑化 中野 良春 (東京工業高等専門学校 制御情報研究室)

特別賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
H004	高齢者福祉施設でのロボットを用いたオンライン面会の提案 山口 愛海 (創価女子短期大学 亀田ゼミナール)

奨励賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
H001	国際理解教育のための情報共有サイト「Gotcha! (ガッチャ!)」の提案 松山 美華 (創価大学 前田ゼミナール)
H002	新しい生活様式に対応した「八王子ソロキャンプ」 鎌田 優佳 (拓殖大学 永見研究室)
H006	グリーンインフラによる水害対策とつながりの構築 木村 友哉 (創価大学 前田ゼミナール)
H007	民間の力で空き家を再生 馬場 一樹 (杏林大学 田中ゼミ)

口頭発表 (対面) 優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
B126	IH調理器使用時における不快感と生体信号の関係 岩佐 駿 (サレジオ工業高等専門学校 産業応用研究室)
B133	高温雰囲気における単結晶シリコンウエハの強度特性 古賀 由泰 (工学院大学 材料力学研究室)
D115	排気ガスに含まれるVOC分解用Fe-Pt/Al ₂ O ₃ 触媒の開発 綱島 麻由子 (東京工業高等専門学校 無機機能性材料研究室)
D124	遠隔地での運用を想定した土壌水分浸透センサシステムの検討 澤田 陸志 (サレジオ工業高等専門学校 情報通信工学研究室)

口頭発表（オンライン） 優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者（大学等名 研究室等名）
E112	マイクロストリップラインと同軸ケーブル接合部におけるインピーダンス整合改善に関する研究 蓮沼 栄太郎（拓殖大学 前山研究室）
E123	液滴の固体面衝突時の表面性状の影響 南 風大（工学院大学 混相流工学研究室）
E134	高次脳機能障がい者が自身の拠り所を見つけ社会復帰へ 高橋 直美（創価大学 安田研究室）
F114	無機黒色顔料を塗布した熱電素子における発電特性 小林 恵士（サレジオ工業高等専門学校 電子セラミック研究室）
F122	小型簡易分光反射率測定器の改良 加藤 峻（サレジオ工業高等専門学校 電子セラミック研究室）
E211	保育園児のお片付け支援と保育士の負担軽減を目指したロボット活用の検討 仁藤 まなみ（創価女子短期大学 亀田ゼミナール）
F212	判じ絵による日本語の見直し 加來 夢穂（サレジオ工業高等専門学校 生活文化マネジメント）

ポスター発表 優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者（大学等名 研究室等名）
P112	CD4を認識するDNAアプタマーの解析とバイオアッセイへの応用 許 セツトウ（東京工科大学 応用生体科学研究室）
P124	Raspberry Piを用いた複数の生体信号の測定を行う携帯型システムの開発 張 帥（拓殖大学 小川研究室）
Q113	PVモジュールに塗布したPV用分子結合チタニアシリカ光触媒の長期的有効性の検討 齋藤 虎大（サレジオ工業高等専門学校 産業応用研究室）
Q127	交流電池に接続するコッククロフト-ウォルトン回路に関する基礎研究 千葉 穰（サレジオ工業高等専門学校 産業応用研究室）
Q214	ジェスチャーを用いたスカラーロボットの制御に関する研究 何 沐キン（拓殖大学 林研究室）
Q227	透明電極/Siショットキー界面の酸化層が太陽電池に及ぼす影響 渡辺 貴夫（工学院大学 高機能デバイス研究室）

展示発表 優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者（大学等名 研究室等名）
T212	プログラミングを学ぶ学生自身が主体となる「小学生向けプログラミング実習講座」 石田 一翔（東京工業高等専門学校 情報通信研究室）
T225	木葉天目に残す土地の記憶 井上 七海（サレジオ工業高等専門学校 価値創造研究室）

口頭発表（対面） 準優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者（大学等名 研究室等名）
B121	ゲート絶縁膜にCYTOPを用いたトップゲート構造酸化インジウムTFTの低温作製と特性評価 熊本 勇紀（工学院大学 高機能デバイス研究室）
B135	セラミックス/金属接合強度と相手金属の材料特性との関連 梶 将季（工学院大学 材料力学研究室）
D116	酸化インジウム透明導電膜へのホウ素ドーピング効果の比較検討 森 峻（工学院大学 高機能デバイス研究室）
D126	あるべき姿の総合型地域スポーツクラブに向けた一考察 高野 蓮汰（帝京大学 川上祐司ゼミナール）

口頭発表（オンライン） 準優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者（大学等名 研究室等名）
E111	熱溶解積層3Dプリンターの造形物の機械的特性に及ぼす積層方向の影響 鈴木 翔太（サレジオ工業高等専門学校 複合材料構造研究室）
E126	新規抗がん剤開発へ向けたテロメアDNAの機能解析 和田 亮平（東京工科大学 エピジェネティック工学研究室）
E136	気候変動対策を市民の手で！ 前島 奈緒子（創価大学 野村ゼミナール）
F117	Arプラズマ処理と Ar ⁺ イオンビーム照射によるPTFE 表面のぬれ特性の検討 中山 芳隆（工学院大学 電気電子機能材料研究室）
F128	電磁加速を用いたバリスティックレンジの開発 森田 迅亮（サレジオ工業高等専門学校 航空宇宙システム研究室）
E217	189（イチハヤク） 谷上 幸子（創価女子短期大学 水元研究室）
F213	「スタンド・バイ・八王子」 北條 久美（創価大学 前田ゼミ）

ポスター発表 準優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
P117	廃棄となる生花を使用した雑貨店のブランディング 細谷 瑠香 (サレジオ工業高等専門学校 ビジュアルコミュニケーション研究室)
P123	Raspberry Piを活用した遠隔授業の音声認識システムの研究 古澤 太清 (サレジオ工業高等専門学校 情報コミュニケーション研究室)
Q114	温度分布からレーザーパワーと照射座標を推定するAIの開発 中尾根 美樹 (東京工科大学 光・エネルギー(大久保)研究室)
Q126	ZrO _x /SiO _x スタック型ReRAMの動作機構解明に向けた電極界面挙動の理解 浪花 大暉 (工学院大学 高機能デバイス研究室)
Q215	3拍子, 4拍子を自己相関関数により推定する 三木 允拓 (サレジオ工業高等専門学校 制御情報研究室)
Q224	パラジウム触媒脱水素化を利用したプロピオフェノンからのβ-ケトエステルの合成 石原 怜依 (東京工科大学 有機合成化学研究室)

展示発表 準優秀賞

発表番号	発表タイトル 代表発表者 (大学等名 研究室等名)
T213	在宅ワークを快適にする椅子 大澤 瑳希子 (サレジオ工業高等専門学校 空間・工業意匠研究室)
T224	新しい暮らし方へ繋がる家 山口 陽楓 (サレジオ工業高等専門学校 インテリア・家具研究室)

知的財産・産学連携活動

1. 産学連携関連規程の整備

「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」に基づき、新たに「創価大学産学連携における受託研究及び共同研究の取扱いに関する規程」を制定。間接経費の取り扱いを研究費総額の10%から、直接経費の15%+研究者が受託研究、共同研究に費やす時間×時間単価に変更し、名称もガイドラインに準じ「産学連携推進経費」とした。

また、今まで大学発ベンチャー企業の設立実績はあったが、正式に取り扱いを定めた規程がなかったため、新たに「創価大学発ベンチャー企業の認定及び支援に関する規程」を制定。ベンチャー企業の認定及び支援手続を明確に定めた。

2. 民間企業からの受託研究、共同研究の受入

2020年度はコロナ禍にも関わらず、民間企業からの受託研究2件210万円、共同研究2件218万円と例年並みの受入額であった。

3. 知的財産権の取得

2020年度は国内特許3件、PCT国際出願3件の出願を行った。また、新規特許登録は2件となり、2020年度末での保有特許数は15件となっ

た。

4. 知的財産権収入

創輝株式会社にライセンス供与している桑の登録品種「創輝」について、年間 170,309 円の利用率収入を得た。

センターとしての活動

センター委員会の開催

第1回 2020年5月25日（月）13：00

第2回 2020年7月20日（月）16：40

第3回 2020年9月14日（月）16：40

第4回 2020年11月16日（月）16：40

第5回 2021年1月27日（水）15：00

第6回 2021年3月15日（月）15：00

規程の改定及び制定

創価大学地域・産学連携センター規程（改定）

創価大学社会連携ポリシー（改定）

創価大学産学連携における受託研究及び共同研究の取扱いに関する規程（新規）

創価大学発ベンチャー企業の認定及び支援に関する規程（新規）